

# PlateSpin Forge® 11.3 導入ガイド

2018年4月

## 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

**Copyright © 2018 NetIQ Corporation, a Micro Focus company. All rights reserved.**

## ライセンスの許諾

PlateSpin Forge 11 以降のバージョン用に購入したライセンスを Platespin Forge 3.3 以前のバージョン用に使用することはできません。

---

# 目次

本書およびライブラリについて	5
<b>1 PlateSpin Forge アプライアンスの使用開始</b>	<b>7</b>
開始準備	7
アプライアンスの設定手順	7
PlateSpin Forge Web インタフェースの起動	9
製品ライセンス	10
オンラインでのライセンスのアクティベーション	10
オフラインでのライセンスのアクティベーション	11
セットアップ後のタスク	11
<b>A PlateSpin Forge 環境設定ワークシート</b>	<b>13</b>
参照用のアプライアンスセットアップパラメータ	13



# 本書およびライブラリについて

この『導入ガイド』では、PlateSpin Forge アプライアンスのセットアップに必要な、基本的な手順に関する情報を記載しています。

## 本書の読者

このドキュメントは、進行中のワークロード保護プロジェクトで PlateSpin Forge を使用するデータセンター管理者およびオペレータなどの IT スタッフを対象としています。

## その他のマニュアル

このガイドの最新バージョンおよびその他の PlateSpin Forge ドキュメントリソースについては、[PlateSpin Forge Documentation \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-forge/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-forge/) Web サイトを参照してください。

オンラインマニュアルは、英語のほかに、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、日本語、およびスペイン語でご利用いただけます。

## 連絡先情報

本書またはこの製品に付属するその他のドキュメントについて、お客様のご意見やご提案をお待ちしています。ドキュメント(英語版)の HTML ページの下部にある [\[comment on this topic \(このトピックに関するコメント\)\]](#) リンクを使用するか、[Documentation-Feedback@microfocus.com](mailto:Documentation-Feedback@microfocus.com) に電子メールを送信できます。

特定の製品の問題については、Micro Focus ご注文と配送 (<https://www.microfocus.com/support-and-services/>) にお問い合わせください。



# 1 PlateSpin Forge アプライアンスの使用開始

PlateSpin Forge は障害復旧のための統合ハードウェアアプライアンスで、組み込まれた仮想化技術により物理ワークロードと仮想ワークロードを保護します。運用サーバの停止時または障害発生時には、ワークロードがすぐに PlateSpin Forge 復旧環境で稼働し、運用環境が復旧されるまで通常どおりの動作を継続します。

- ◆ 7 ページの「開始準備」
- ◆ 7 ページの「アプライアンスの設定手順」
- ◆ 9 ページの「PlateSpin Forge Web インタフェースの起動」
- ◆ 10 ページの「製品ライセンス」
- ◆ 11 ページの「セットアップ後のタスク」

## 開始準備

アプライアンスの初期設定の準備として、次のタスクを実行します。

1. **ライセンスアクティベーションコードを取得する**：製品のライセンスを取得するには、ライセンスアクティベーションコードが必要です。これは、PlateSpin の発注書に記載された連絡先に電子メールで送信されます。アクティベーションコードを参照するには、発注書に記載されているものと同じ電子メールアドレスを使用して、[Customer Center \(http://www.netiq.com/customercenter/\)](http://www.netiq.com/customercenter/) にログインします。
2. **設定ワークシートに記入する**：13 ページの「PlateSpin Forge 環境設定ワークシート」を使用して、現在の環境の設定を記録します。
3. **ハードウェアを設定する**：PlateSpin Forge アプライアンスの解凍後、このガイドの内容を参考にしながら、ハードウェアをマウントして接続します。

## アプライアンスの設定手順

PlateSpin Forge アプライアンスの初期のセットアップと設定は、以下のタスクで構成される 1 回限りの手順です。

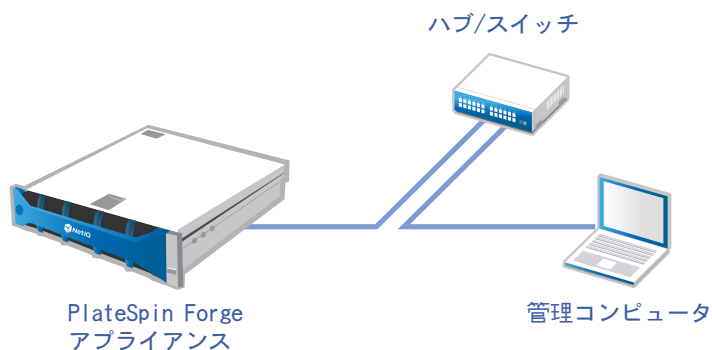
1. アプライアンスホストの設定 (本製品のハイパーバイザコンポーネントである VMware ESXi)。
2. Forge Management VM の設定 (アプリケーションロジックがホスト上で実行する Windows 仮想マシン)。
3. 製品ライセンスの有効化。

この手順を開始する前に、13 ページの「PlateSpin Forge 環境設定ワークシート」に情報を記入してください。

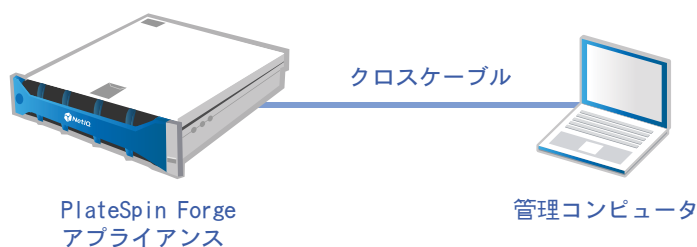
アプライアンスのインストールと環境設定を開始するには、別のコンピュータ（「管理コンピュータ」）を通じて直接アプライアンスに接続し、ブラウザベースの Forge Appliance Configuration Console (ACC) ユーティリティを使用する必要があります。このためには、柔軟性と移動性の点からノートブックコンピュータの使用を検討してください。

次の手順を実行して、アプライアンスをインストールおよび設定します。

- 1 7 ページの「開始準備」に記述されている準備手順を実行します。
- 2 管理コンピュータをアプライアンスに接続します。これは、次のいずれかの方法で実現できます。
  - ◆ ネットワークスイッチを通じた接続：両方のユニットを、イーサネットネットワークケーブルを通じてネットワークスイッチまたはハブに接続します。



- ◆ 直接接続：PlateSpin Forge アプライアンスと管理コンピュータを、クロスオーバーケーブルを通じて直接接続します。



- 3 PlateSpin Forge アプライアンスの電源をオンにします。システムが完全に開始するまで少なくとも 10 分間待機した後で、接続を試みてください。
- 4 管理コンピュータに IP アドレスを 192.168.1.x の範囲、および 255.255.255.0 の関連サブネットマスク（またはコンピュータがアプライアンスのデフォルトの IP アドレス、192.168.1.200 に ping できることを確認し、あらゆる IP アドレス / サブネットマスクの組み合わせ）で割り当てます。

---

**注：** 次の IP アドレスは使用しないでください。

- ◆ 192.168.1.200 - hypervisor によって使用されています。
- ◆ 192.168.1.210 -Forge 管理 VM によって使用されています。

- 5 サポートされている Web ブラウザを開き、<http://192.168.1.200:10000> で Forge Appliance Configuration Console (Forge ACC) にアクセスします。



---

**注:** ブラウザによっては、プロトコル (http://) を含む URL 全体をブラウザのアドレスバーに入力する必要がある場合があります。

サポートされているブラウザのリストについては、[9 ページの「PlateSpin Forge Web インタフェースの起動」](#)を参照してください。

---

- 6 root アカウントを使用してログインします (パスワード : Password1)。[パスワード変更] ページにリダイレクトされます。
- 7 ドロップダウンメニューを使用して、root アカウントと forgeuser アカウントのパスワードを変更します。
- 8 Forge ACC からログアウトし、[Return home (ホームに戻る)] をクリックします。
- 9 [ステップ 7](#) で設定したパスワードを使用して、forgeuser アカウントでログインします。
- 10 [ホストを設定] を選択します。

---

**注:** 最初にアプライアンスホストを設定する必要があります。これを実行する前に Forge VM の設定を試みないでください。

---

- 11 適切な設定を指定し、[適用] をクリックします。
- 12 [続行] をクリックします。
- 13 設定が完了したら、管理コンピュータの接続を解除し、アプライアンスを運用ネットワークに接続します。そこで新しい IP アドレスが有効になります。
- 14 コンピュータから、http://<appliance\_IP\_address>:10000 にアクセスします  
(同じコンピュータを使用している場合は、その IP アドレスをネットワーク内で有効なものに変更する必要があります)。
- 15 forgeuser アカウントを使用してログインします。
- 16 [Forge VM を設定] をクリックします。
- 17 [Forge VM を設定] ページで、適切な設定を入力して [適用] をクリックします。
- 18 概要ページで [続行] をクリックし、VM の設定が完了するまで待ちます。
- 19 http://<Forge\_Management\_VM\_IP\_address>/Forge の Forge UI に移動します。
- 20 Forge VM のデフォルトの資格情報を使用してログインします (ユーザ名 : Administrator、パスワード : Password1)。

## PlateSpin Forge Web インタフェースの起動

製品の操作のほとんどは、ブラウザベースの PlateSpin Forge Web インタフェースを介して行います。

サポートされているブラウザを次に示します。

- ◆ *Google Chrome* バージョン 34.0 以上
- ◆ *Microsoft Internet Explorer* バージョン 11.0 以上
- ◆ *Mozilla Firefox* バージョン 29.0 以上

---

**注:** JavaScript (アクティブスクリプト) がブラウザで有効になっている必要があります。

---

PlateSpin Forge Web インタフェースを起動するには：

- 1 Web ブラウザを開き、次のページにアクセスします。

`http://<hostname | IP_address>/Forge`

---

注：< ホスト名 | IP アドレス > を、ご使用の Forge 管理 VM のホスト名または IP アドレスに置き換えます。

SSL が有効な場合は、URL に https を使用します。

---

PlateSpin Forge に初めてログインする場合、ブラウザは [ライセンスのアクティベーション] ページにリダイレクトします。

## 製品ライセンス

PlateSpin Forge 製品のライセンスには、ライセンスのアクティベーションコードが必要です。のライセンスのアクティベーションコードがない場合、[カスタマーセンターの Web サイト \(http://www.netiq.com/customercenter/\)](http://www.netiq.com/customercenter/) を通じて要求してください。ライセンスのアクティベーションコードは、電子メールで送信されます。

---

注：PlateSpin の既存のお客様で、カスタマーセンターのアカウントをお持ちでない場合は、発注書に記載されているものと同じ電子メールアドレスを使用して、まずそのアカウントを作成する必要があります。「[アカウントの作成 \(https://www.netiq.com/selfreg/jsp/createAccount.jsp\)](https://www.netiq.com/selfreg/jsp/createAccount.jsp)」を参照してください。

---

製品ライセンスを有効にするには、オンラインとオフラインの 2 つのオプションがあります。

- 10 ページの「[オンラインでのライセンスのアクティベーション](#)」
- 11 ページの「[オフラインでのライセンスのアクティベーション](#)」

## オンラインでのライセンスのアクティベーション

オンラインのアクティベーションについては、PlateSpin Forge をインターネットに接続する必要があります。

---

注：HTTP プロキシを使用している場合、オンラインアクティベーション中にエラーが発生する可能性があります。HTTP プロキシ環境のユーザに対しては、オフラインアクティベーションをお勧めします。

---

オンラインでライセンスを有効にするには、次の手順に従います。

- 1 PlateSpin Forge Web インタフェースで、[Add PlateSpin Forge License (PlateSpin Forge ライセンスの追加)] > [Add License (ライセンスを追加する)] の順にクリックします。
- 2 [ライセンスのアクティベーション] ページで、[オンラインアクティベーション] を選択し、注文時に指定した電子メールアドレスを指定します。
- 3 受け取ったアクティベーションコードを入力し、[有効にする] をクリックします。  
システムはインターネット経由で必要なライセンスを取得し、製品を有効にします。

## オフラインでのライセンスのアクティベーション

オフラインアクティベーションでは、インターネットにアクセスできるコンピュータを使用して、インターネット経由で PlateSpin Forge のライセンスキーファイルを取得します。

オフラインでライセンスを有効にするには、次の手順に従います。

- 1 PlateSpin Forge Web インタフェースで、[Add PlateSpin Forge License (PlateSpin Forge ライセンスの追加)] > [Add License (ライセンスを追加する)] の順にクリックします。
- 2 [ライセンスのアクティベーション] ページで [オフラインアクティベーション] を選択し、表示されたハードウェア ID をコピーします。
- 3 別のブラウザのタブまたはウィンドウで、PlateSpin 製品のアクティベーション Web サイト (<http://www.platespin.com/productactivation/ActivateOrder.aspx>) に移動し、のハードウェア ID を使用してライセンスキーファイルを作成します。このプロセスでは、注文時に指定した電子メールアドレスと受け取ったアクティベーションコードが必要になります。
- 4 PlateSpin Forge Web インタフェースで、ファイルへのパスを入力するか、ファイルの場所を参照して、[有効にする] をクリックします。  
ライセンスキーファイルが保存され、このファイルに基づいて製品が有効化されます。

## セットアップ後のタスク

Forge アプリケーションのセットアップが完了したら、次のタスクを検討して実行する必要があります。

- (オプション、強く推奨) SQL Server Express のシステム管理者ユーザのパスワードを変更します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[SQL Server のシステム管理者ユーザのパスワード変更](#)」を参照してください。
- (オプション、国際バージョンが対象) 特定のサポート対象言語で使用できるように、PlateSpin Forge およびブラウザを設定します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[国際バージョンの言語設定の設定](#)」を参照してください。
- メインの運用ネットワークからレプリケーションまたはフェールオーバーのトラフィックを切り離すようにアプライアンスホストのネットワークを設定します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[アプライアンスのネットワークの設定](#)」を参照してください。
- (オプション) 組織で必要とされるとおりに、適切な役割ベースのアクセス設定を設定します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[ユーザ権限および認証の設定](#)」を参照してください。特に、デフォルトの管理者パスワードはすぐに変更するようにしてください(「[ForgeVM の管理者ユーザのパスワード変更](#)」を参照)。
- SMTP の設定を行い、電子メール通知の受信者を追加します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[イベントおよびレプリケーションレポートの電子メール通知サービスの設定](#)」を参照してください。
- (オプション) Forge にデータストレージ容量を追加します。『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[PlateSpin Forge における外部ストレージソリューションの使用](#)」を参照してください。
- Web インタフェース(『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[管理コンソールでの複数の PlateSpin Server の管理](#)」を参照)、およびワークロード保護のライフサイクル(『[PlateSpin Forge ユーザガイド](#)』の「[ワークロードの保護と回復の基本ワークフロー](#)」を参照)に習熟します。



# A PlateSpin Forge 環境設定ワークシート

次のワークシートを使用して、選択した内容および環境設定を後から参照するために記録します。

## 参照用のアプライアンスセットアップパラメータ

パラメータ	Details ( 詳細 )
1. Forge スーパーユーザ /root ( 別名 Forge 仮想ホスト )	ログイン : <b>root</b> パスワード ( デフォルト : <b>Password1</b> ) : _____
2. アプライアンスホストのネットワーク情報	IP アドレス : _____ ネットマスク : _____ デフォルトゲートウェイ ( ルータ ) の IP アドレス : _____ DNS サーバの IP アドレス : _____ ホスト名 ( forge など ) : _____
3. Forge ホスト資格情報	ホストログイン : <b>forgeuser</b> パスワード : _____
4. VMware インフラストラクチャ /vSphere クライアント	IP アドレス / 名前 ( セクション 2 から ) : _____ ユーザ名 ( セクション 3 から ) : _____ パスワード ( セクション 3 から ) : _____
5. Forge 管理 VM のネットワーク設定	<b>[ ] DHCP の使用</b> <b>[ ] 静的 IP アドレスの使用</b> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ IP アドレス : _____</li><li>◆ ネットマスク : _____</li><li>◆ デフォルトゲートウェイ ( ルータ ) の IP アドレス : _____</li><li>◆ DNS サーバの IP アドレス : _____</li><li>◆ ホスト名 : _____</li><li>◆ DNS サフィックス : _____</li></ul>

---

**パラメータ****Details ( 詳細 )**

---

メモ :

- 
6. ワークグループまたはドメインに参加  
[ ] [スキップ]  
[ ] はい
- ◆ [ ] ドメイン
    - ◆ ドメイン名 : \_\_\_\_\_
    - ◆ ドメインユーザ : \_\_\_\_\_
    - ◆ ドメインパスワード : \_\_\_\_\_
  - ◆ [ ] ワークグループ
    - ◆ ワークグループ名 : \_\_\_\_\_
- 
7. Forge Web インタフェースの資格情報 ユーザ名 ( デフォルト : **Administrator** ) : \_\_\_\_\_  
パスワード ( デフォルト : **Password1** ) : \_\_\_\_\_
- 
8. PlateSpin Forge ライセンスのアクティベーション [ ] **オンラインアクティベーション**
- ◆ 電子メールアドレス ( 製品注文書で指定したもの ) : \_\_\_\_\_
  - ◆ アクティベーションコード ( NCC から ) : \_\_\_\_\_
- [ ] **オフラインアクティベーション**
- ◆ ハードウェア ID : \_\_\_\_\_
  - ◆ ライセンスファイルの場所 : \_\_\_\_\_
- 
9. Microsoft Windows Server 2012 のライセンスキー Windows 2012 のライセンスキー : \_\_\_\_\_
- 
10. Microsoft SQL Server 2014 プロダクトキー SQL Server 2014 プロダクトキー : \_\_\_\_\_
- 
11. VMware ESXi 5.5 のライセンスキー ESXi 5.5 のライセンスキー : \_\_\_\_\_
- 
12. Windows Server 2012 ローカル管理者のパスワード ユーザ名 ( デフォルト : **Administrator** ) : \_\_\_\_\_  
現在のパスワード : \_\_\_\_\_  
新しいパスワード : \_\_\_\_\_
-

---

**パラメータ****Details (詳細)**

---

13. SMTP 設定 (通知のためのオプション設定) SMTP サーバアドレス: \_\_\_\_\_  
ポート (デフォルト: 25): \_\_\_\_\_  
返信アドレス: \_\_\_\_\_  
ユーザ名: \_\_\_\_\_  
パスワード: \_\_\_\_\_

---

14. 通知の受信者 (オプション) 電子メールアドレス (カンマ区切りのリスト): \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

---

メモ:

---

